

島根原子力発電所2号炉 審査資料	
資料番号	EP-071改 07(説 3)
提出年月日	令和2年6月4日

島根原子力発電所2号炉 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 (審査会合からの変更内容)

令和2年6月
中国電力株式会社

燃料プール水位・温度（S A）の設計変更について

■ 燃料プール水位・温度（S A）について、設計進捗により下記の設計変更を行う。

➤ スロッシング時の水位低下幅を上回る水位の低下を把握することを目的に、検出点位置を6,000mm※に設定していた。しかし、内部溢水影響評価における燃料プールのスロッシング解析による溢水量の変更(第789回審査会合(令和元年10月29日))に伴い、スロッシング時の水位低下幅が変更となったため、検出点位置を変更。

変更前：6,000mm※(EL41518mm) [スロッシング後の水位 6,122mm※(EL41640mm)]

変更後：5,800mm※(EL41318mm) [スロッシング後の水位 5,902mm※(EL41420mm)]

➤ ヒータ加熱による影響を受けずに燃料プール温度高警報を発報することを目的に、熱電対による温度検出点を追加。なお、温度計測において、同じ設置高さの検出点のヒータ加熱による影響を受けない設計とする。

変更前：熱電対なし（ヒータ付熱電対6点による燃料プール温度高警報）

変更後：熱電対（設置位置 5,800mm※）あり（熱電対1点による燃料プール温度高警報）

※基準点は使用済燃料貯蔵ラック上端（EL35518mm）

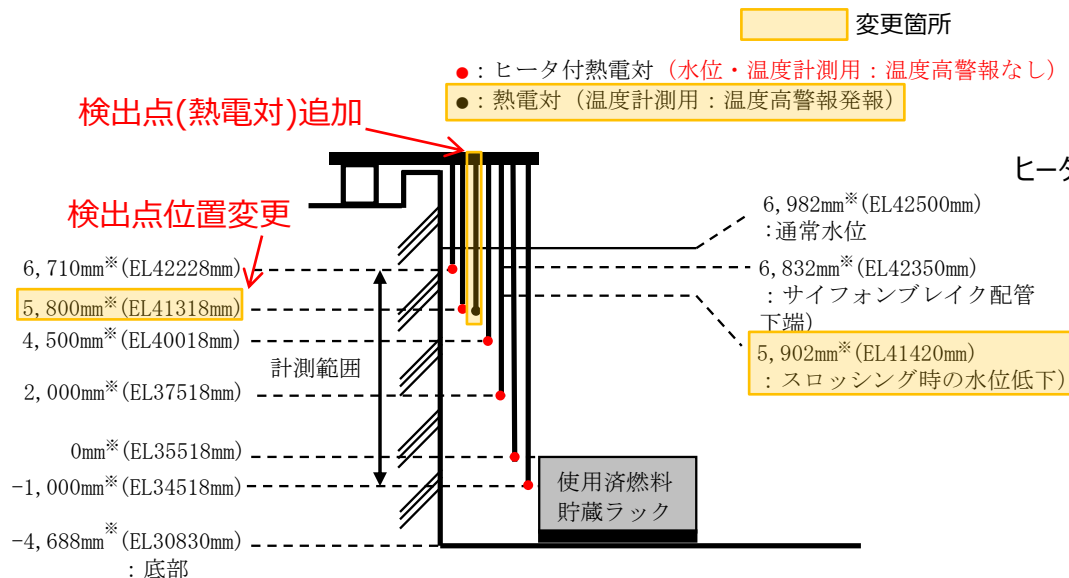


図1 燃料プール水位・温度（S A）の設置図（変更後）

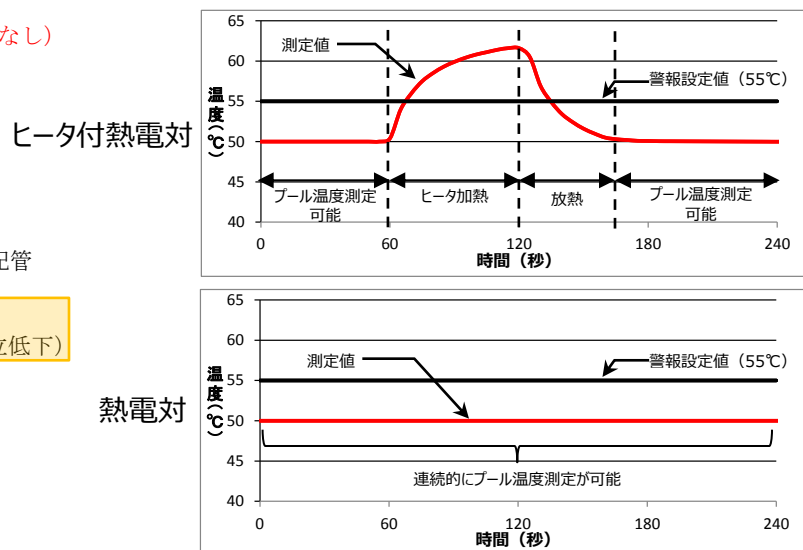


図2 温度推移イメージ